

令和3年度 全国学力・学習 状況調査結果

小学6年生と中学3年生を対象に
全国一斉に実施された全国学力・学
習状況調査の、佐呂間町の結果につ
いて概要をお知らせします。

教科に関する調査

★国語

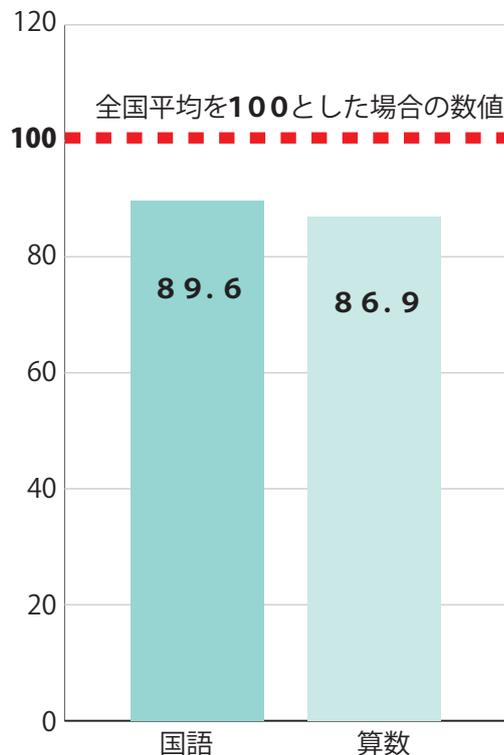
★算数・数学

児童生徒、学校に対する調査

★児童生徒に対するアンケート調査

★学校に対するアンケート調査

アンケート項目	佐呂間町	全国平均
朝食を毎日食べている	97.3%	94.9%
学校に行くのが楽しい	86.8%	83.4%
平日1時間以上家庭学習している	31.5%	62.5%
平日30分以上読書している	29.0%	37.4%
自分には良いところがある	73.7%	76.9%
自分で計画を立てて勉強する	86.9%	74.0%
将来の夢や目標を持っている	78.9%	80.3%
地域社会のためにすべき事を考える	63.2%	52.4%



小学6年生の結果

結果の分析

国語、算数いずれについても、全国平均正答率を下回っており、各教科の学習内容の定着が課題となりました。

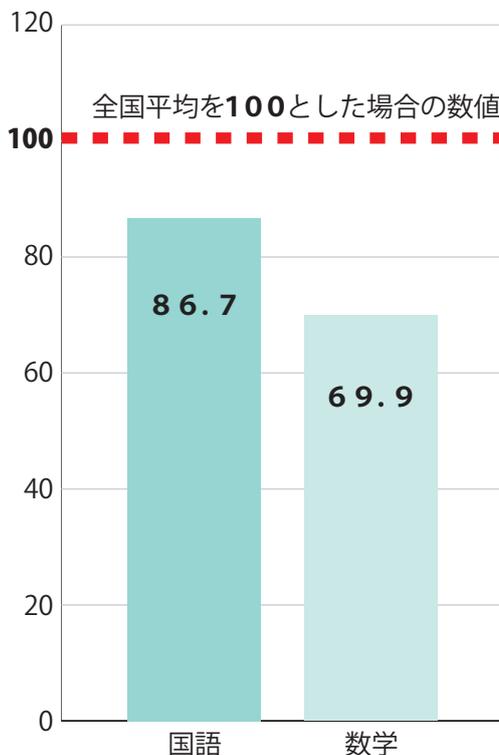
領域別にみると国語の「話すこと・聞くこと」の領域は全国平均正答率に近いです。他の領域「書くこと」、「読むこと」、「言葉の特徴や使い方に関する事項」が全国平均正答率を下回っており、また、算数では、「変化と関係」の領域が全国平均正答率に近いですが、「数と計算」、「図形」、「測定」、「データの活用」において全国を下回っていました。

児童質問紙では約8割の児童が「将来の夢や希望を持っている」と答え、また、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることはありませんか」の問いについて、6割以上の児童が「当てはまる」と答えており、自分の将来と地域社会について考え、学校生活を送っていることがうかがえます。

一方学習面では、平日の家庭学習時間が全国平均より大きく下回っており、学校と家庭が連携した家庭学習の推進が課題と言えます。

中学3年生の結果

アンケート項目	佐呂間町	全国平均
朝食を毎日食べている	100%	93.1%
学校に行くのが楽しい	85.3%	81.9%
平日1時間以上家庭学習している	44.0%	69.8%
平日30分以上読書している	32.3%	27.0%
自分には良いところがある	52.9%	74.1%
自分で計画を立てて勉強する	35.3%	50.4%
将来の夢や目標を持っている	73.5%	70.5%
地域社会のためにすべき事を考える	38.3%	39.4%



結果の分析

国語、数学いずれについても、全国平均正答率を下回り、各教科の基礎・基本の定着が課題という結果となりました。

領域別にみると国語では「話すこと・聞くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は全国平均正答率に近いです。一方、「書くこと」、「読むこと」の領域では全国平均正答率を下回りました。数学では、「資料の活用」の領域で全国平均正答率を下回っており、特に「数と式」、「図形」、「関数」の領域で全国を大きく下回りました。

生徒質問紙からは、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることはありますか」の問いについて、5割以上と全国平均を上回っており、地域社会について考え学校生活を送っていることがうかがえます。

一方学習面では、平日の家庭学習時間が全国平均より大きく下回っており、学校と家庭が連携した家庭学習の推進が課題と言えます。

今後の学力向上に向けて

◆町内教職員で組織する「学力向上推進委員会」において、学力・学習状況調査の分析や家庭学習のさらなる定着、ICTを活用した授業等について研究し、町全体の取り組みを推進していきます。

◆佐呂間町単独で教員を配置し、放課後学習や少人数数学級の設置など、きめ細やかな指導の充実を図っていきます。

◆学びの連続性を保障するため、保育所・小学校・中学校・高等学校間の交流や連携強化に努めていきます。

◆町内の学校が、それぞれ本調査の分析をもとに成果と課題を明確にし、課題解決に向けて一層の実践・推進を図っていきます。

